

円に近い多面体である為360度どの方向からでもブラシが当てられ、滑りにくく、握りやすい太さになっています。

この歯ブラシは、神奈川県で開業されていた故平野先生が開発されました。その後、昭和五十年代に特許を取得し、時代の変化と共に改良を重ね、当院長も研修医時代に平野科医院にて研究に携わりました。

リピート率も高く、使っている患者様からは、「一度使うと他は使えなくなる」と言う声を多く頂いております。

興味のある方はスタッフにお申し付け下さい。

ると、血流が良くなり全身の健康に繋がります。多くの毛細血管で作られた歯肉は、血流が悪い状態を顕著に表わす為、全身の鏡となります。

私達は、やめたくても吸つてしまふという気持ちを理解した上で、禁煙希望の患者様に寄り添い、一緒に考えながらサポー卜したいと考えています。

今後もお口の専門家として抄読会を通して、様々な方向から物事を考え、患者様の幸せへのお手伝いをしていきたいと思ひます。

6月4日の週は、歯の衛生週間ということで、菊川小学校にて毎年6月に歯磨き教室を行っています。

写真は先生が小学生たちに、虫歯になりやすい場所を教えていると聞きました。みんな一生懸命話を聞いて、歯を磨いていました。生徒から楽しかったという声も頂き、毎年恒例行事となっています。

（岩崎 飯野）

ブラークアタツカ一と、いう歯ブラシを御存じですか？すでに使用されている方や初めて耳にする方もいらっしゃると思います。ブラークアタツカ一には、2つの特徴があります。1つ目は、**硬いブラシ**です。市販の物より硬く、一部の患者様からは『たわし』と呼ばれています。この硬いブラシで優しく磨くと、歯肉のマツサージにもなり、丈夫になります。2つ目は、**持ち手の形**です。人の手の形を考えて作られた持ち手で、

今回の抄読会では、少子高齢化によつて起ころる様々な問題の中、在宅診療について、ムセ（誤嚥・こえん）とはどういう事なのか、予防などを学びました。また、当医院では区の妊婦検診を行つてゐる為、妊婦の方へ気をつける事、必ず伝える事を知りました。更に歯科における禁煙支援の考え方、お口への影響等を皆で読み合いました。

「一北の国から」の脚本家、倉元聰さんです。
そこで、森を増やす為に私達もキタコブシ
ナナカマド・ミズナラの木を植樹しました。
← 富良野自然塾ホームページのURLです。

学んできました。歯肉の小さな変化が、患者様の大きな意識の変化に繋がることを再確認しました。

先日、北海道で行われた日本臨床歯周病学会に参加してきました。日本中から歯科医師や歯科衛生士が集まり、最新の器具を見たり、重度の歯周病が治つていく症例を

最近の行事

